

本とあそぼう こどもみんと

Vol.1

2001年 4月
宇佐市民図書館
〒879-0453
宇佐市大字上田 1017-1
Tel.0978-33-4600
Fax.0978-33-4679

「がんばれ。」

「がんばれ。」

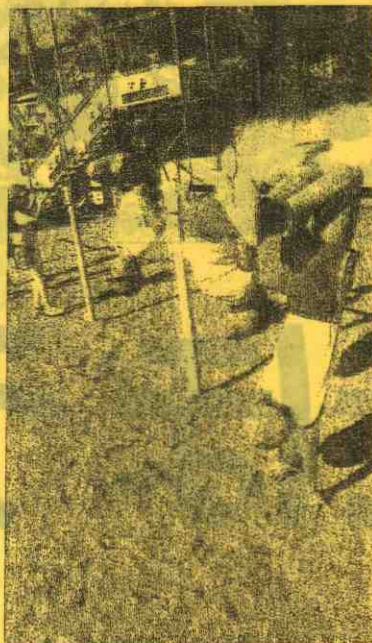
と みんながさげんだ。

ぼくが てつぼうを

「ぎゅっ。」

と 力強くにぎった。

じっと みんながぼくを見つめる。



さか上がり

中村 としゆき

『詩のランドセル』
九州編 1・2年より

「くるるるるうん。」

と ぐらぐらまわった。

(やった。さか上がりができた。)

と おくのおくのおくまで いった。

心の中がぼくはつするようになれしかった。

せんせい

「ポーン。」

と だきあげた。

うれしなみだが

目に ほつほつ たまった。

毎月の展示などをもうくわしく紹介し、もっとこどもスペースを知ってもらうためのページです。

今月は3月の講演(館内にテープあり)から、【外であそぼう】をテーマに展示をしています。

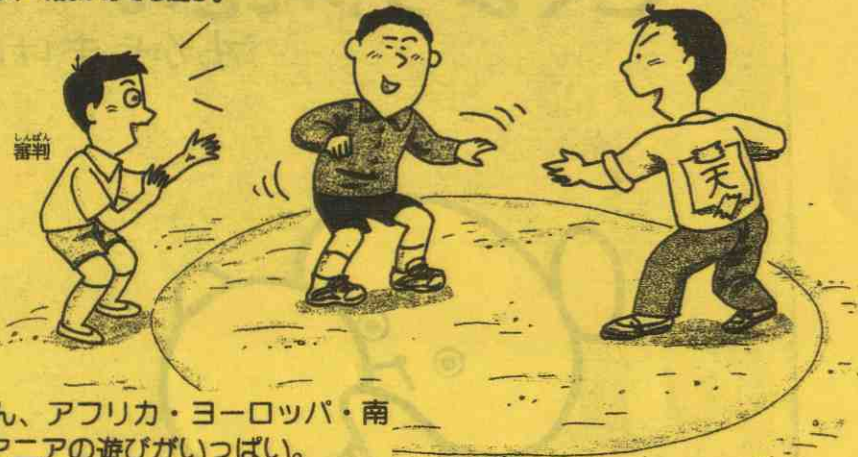
今までできなかったことができたうれしさ、「ぼくはつするようになれよう。」よるこび。

体を動かすことでしか得られないものも確かにあります。昔からの遊び方の本などもあります。

文字読みずもっ

●人数：3人以上 ●遊ぶ場所：戸外
●用具：紙、フェルトペン、ガムテープ

円から出ないように気をつけながら、
相手の背中にはられた文字を、
すばやく読みあてる遊び。



『国際理解に役立つ
世界の遊び』より

アジアはもちろん、アフリカ・ヨーロッパ・南
北アメリカ・オセアニアの遊びがいっぱい。
イラストつきなので見やすく、下にルール。
「遊びで世界一周」なんてできちゃうかも。

外で

今でもこんなことをして遊ぶ
のかな？ じょうずな子、鳴ら
ない子もいて、友だちどうして
工夫しあったり。
そんな大人にも懐かしい遊び
がたくさん残っています。

『ふるさとを感じる
遊び事典』より

カラスノエンドウは、子どもたちに「ピーピー豆」と呼ばれています。道端や野原に生える二年草で、四月から五月にかけて紫の小さな花をつけるマメ科の植物です。
似たものにスズメノエンドウがあります。この二種は花の大きさをカラスとスズメにたとえておくとされ、カラスノエンドウはスズメノエンドウよりも大きいものです。種子も前者は一〇個程度つきますが、後者は二個しかつけません。笛をつくる場合もスズメノエンドウでは小さすぎてつくれません。
まず、よく膨らんだカラスノエンドウの実(さや)を選びます。膨らんでいたほうが、空気の通りがよく、振動が大きくなるので音がきれいに出来ます。さやの下側をさいて中の豆を全部取り出し、茎と反対の側に息を吹き込みます。

カラスノエンドウの笛

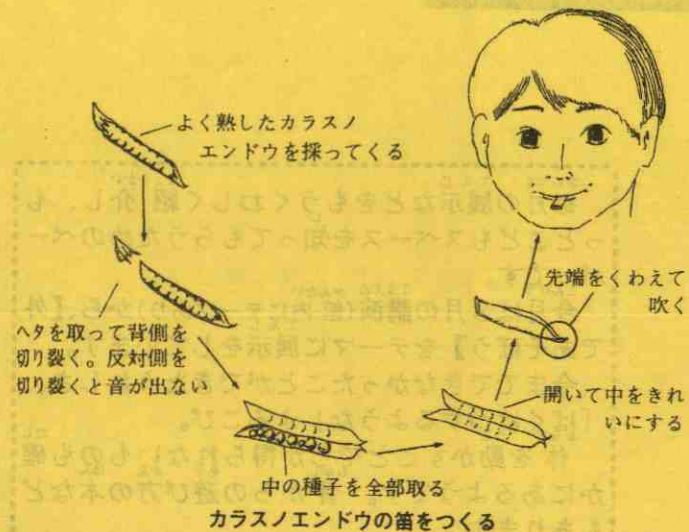
草原 道端

春 夏



気が早いと思うかもしれないけれど、海の遊びはもうできるよ。ワカメなどの海藻を拾ったりしてみよう。宇佐市の海ではできない遊びもあるけれど、いろいろな楽しみを教えてください。

あそぼう



ここで紹介したものが最高のワケではありませんが、見ているだけで楽しいもの、ちょっと懐かしいものが載っていて、何かの参考になりそうなものを取りあげてみました。

4月中は展示をしています。5月以降はお尋ね下さい。

どくだんとへんけんによっているかもしれない

今月の一冊

こぐまちゃんとぼーる

布かやまけん



宇佐市民図書館



03120024603

こぐま社

本物は、落ち着いた青をバックにして鮮やかなオレンジ色のボールを持った灰色のこぐまちゃんがカワイイ本です。ボールがきっかけで、こぐまちゃんが自分の世界を広げていく様子が描かれています。

大人の方が、こぐまちゃんをちゃんと見ていて、声をかけてくれ、ボールを返してくれます。

良いことをすると誉めてくれたり、悪いことをすると注意してくれたり、無視するのではなくそうして見ていてくれることが子どもにとっては大切なのかもしれません。

ご意見・ご感想などは図書館内外のポストへどうぞ